

特集

集

触れる

皮膚感覚とケア

いたい、かゆい、きもちいい……人間は、皮膚をとおして多くのことを感じています。

近年、皮膚科学の進歩を背景に、単なる「内臓を包む外皮」としてではなく、「自立した臓器」としての皮膚のはたらきが見直されるようになってきました。

皮膚に触れる／触れられるとき、人間の身体にはなにが起こっているのか。先端科学から武術まで、さまざまな観点から、「皮膚に触れる」を見直してみよう。

①皮膚感覚の意味を知る／山口創②触れられるように触れる 触れるように触れられる／熊谷晋一郎・綾屋紗月③「武術稽古素材」から触れ方を考える／中島章夫④皮膚感覚を発見するためのワークプログラム／北村啓